

平成 26 年度 第 10 回 理事会議事録

日時：平成 27 年 1 月 27 日（火）19：00～21：30

場 所：県士会事務所

出席：(理事) 小林伸、高村、磯野、有泉、藤田、青柳、
北山、古屋、笠井、井村
(部長) 鈴木、大内、菅谷、加納、
(委員長) 山田

欠席：なし

書記：伊東・木村

会員管理情報

慶事 0 件 弔事 1 件 施設数 120 会員数 721 休会 36 名

I. 審議事項（全 5 題）

1. 会員割引制度の士会導入について

(藤田事務局長)

継続 平成 27 年 2 月中旬より協会会費割引制度が導入される。士会費についてはアンケート調査および割引した場合の運営上のシミュレーションを行い、1 年間かけて検討していく。アンケートの集計は今年度中に行う。割引の対象は夫婦、産休・育休、シニアとする。

2. 平成 27 年度学術局学術研修部事業(案)について

(北山学術局長)

承認 事業(案)の日程、テーマ、講師の報告あり。日程についてその他の事業と重複していないことが確認されたため、承認となる。

3. 第 19 回山梨県理学療法士会学術集会の開催時期と特別講演講師の検討について

(北山学術局長)

承認 特別講演講師依頼は山梨リハビリテーション病院の伊藤克浩先生で承認される。開催時期については、平成 27 年 9 月の関ブロ学会が開催されるため、年明けの平成 28 年 1 月 17 日(日)を予定している。学会準備に支障がなければ 1 月で問題ないが、センター試験と重なることが予想されるため、場所が確保できるかが懸念されるとの意見があった。日程・場所については学術局長に一任することで承認される。次回の理事会で報告することとなる。

4. 理学療法士協会主催 PT 講習会応用編の開催について

(北山学術局長)

承認 継続事業の「脳卒中片麻痺者の実践的アプローチ」(場所：山梨リハビリテーション病院、講師：北山、伊藤、高村、福富)と、新規事業の「臨床運動分析(ヒューマンムーブメント)」(場所：健康科学大学リハビリテーションクリ

ニック、講師：高村、北山)の開催の申請は承認される。今後の運営についての審議は県士会事業として運営した場合の会計処理に関して不明な点があったため保留となる。他県士会での運営方法を情報収集し、検討継続していく。

5. 県士会費割引制度に関する会員へのアンケート内容について

(井村企画局長)

承認 添付したアンケート用紙は産休・育休についての質問内容の追加および指摘があった箇所を訂正して作成する。また内容について意見があれば今月中までに企画局長まで連絡願いたい。アンケート用紙は回収用の封筒(企画局で用意)を個々に用意し、施設ごとに発送する。施設代表には個人情報に配慮するよう促す一文を入れる。アンケートの結果は HP、サポーターズ(来年度初回)に掲載する予定。

II. 報告事項（全 10 題）

1. 関東甲信越ブロック理学療法学会準備委員会：第 18 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会報告

(山田委員長)

1 月 17 日に準備委員会を開催した。県庁へ挨拶に伺い後援を依頼した。埼玉県士会学会にて広報活動を実施した。2 月には千葉県士会学会にて行う予定。フェイスブックを開設し、ホームページは近日中に開設予定。ポスター配布はしないことと決定した。協賛企業及び養成校が決定した。会場責任者の候補者への依頼を進めていく。座長、司会者については了承済み。プログラム集と関ブロ 40 周年記念誌の発行は県士会と連携して進めていく。(会長より)40 周年記念誌については関ブロ準備委員会から 2 名、県士会広報局から 2 名、会長の 5 名で委員会を立ち上げ準備を進めていく。発送費は県士会負担、編集・印刷代は学会サービスと相談し検討していく。

2. 地域支援事業等推進委員会：進捗状況

(磯野副会長)

2 月 21 日の導入研修会の会場は甲府市総合市民会館(会議室 4)に決定した。定員は 50 名で案内文は完成している。案内は申し込み者にハガキで送付し、ホームページにも載せる。(会長より)2 月 11 日の全国リハ協主催研修会は定員 200 名のところ現在 120 名の申し込みで、まだ余裕があるので経験年数 5 年以上の枠をゆめ再度申し込み者を募る事となる。

3. 委託事業部：「腰痛予防教室」の講師派遣依頼について

(古屋社会局長)

山梨県教育委員会より講師派遣依頼を受け、講師に健康科学大学リハビリテーションクリニックの高

村祐子先生を推薦した。

4. スポーツ理学療法部：スポーツ理学療法勉強会報告

(古屋社会局長)

第 57 回スポーツ理学療法勉強会が開催された。スクールトレーナーに対し県士会としてどのような姿勢であるべきか今後検討していく。その情報収集も事業の一つとして進めていく。

5. 生涯学習部：生涯学習担当者会議について

(北山学術局長)

1月24日に生涯学習担当者会議へ遠藤部長が参加した。議題として生涯学習におけるeラーニングの活用が挙げられた。

6. 生涯学習部：新人プログラムの案内について

(北山学術局長)

テーマが決定した。B-4の講師は健康科学大学の村松憲先生、B-2は健康科学大学の高村浩司先生、A-3は山梨県立中央病院の三井伸一先生に依頼した。場所は山梨県青少年センター。これをもって年度内の活動はすべて終了する。

7. 公開講座部：平成 26 年度山梨県理学療法士会公開講座について

(井村企画局長)

ビラ製作は完了した。各メディアへの広報依頼済み。県内各所へのポスター掲示依頼を進めていく。また、会員の参加協力もお願いしたい。県士会代表挨拶は小林会長が不在であるため磯野副会長へ依頼する。公開講座は地域包括ケアリーダーの士会事業の一つとされている。当日の参加者管理は会員カードリーダーを活用する。

8. 企画研修部：平成 26 年度企画研修部研修会について

(井村企画局長)

第 1 回のテーマは「ワークライフバランス」とし、講師に埼玉県総合リハビリテーションセンターの清宮清美先生に依頼した。日程は 3 月 11 日(水)とした。第 2 回のテーマは「臨床実習」とし、講師に帝京科学大学の豊田輝先生に依頼した。日程は 3 月 21 日(土)とした。会場は両日とも大木記念ホール。

9. 事業管理部：ホームページ業務委託進捗状況

(菅谷事業管理部長)

サンプルとツリー構造(添付資料参照)が完成した。今後は写真やレイアウトなどを詳細に検討していき、今年度中の完成を目指す。HPからの研修受付については「こくちーず(告知's)」という無料のサイトを利用することを検討している。セキュリティーを強化するために専門業者に委託することを検討している。引き続き、HP用の写真などの素材収集の協力を願いたい。会員専用ページにしないのかとの意見が挙がったが、HP制作会社からは閉鎖的で一

般的ではないとのことで現時点では考えていないとの返答あり。

10. 事務管理局：平成 27 年度部長変更について

(藤田事務管理局长)

来年度より事業管理部長および財務部長が変更となる。事業管理部長は中込、財務部長は松下を予定している。現部長は部員として残り、協力をお願いする。

III. その他

1. 会長挨拶

1月24日の研修会、2月15日・21日の研修会、3月1日の公開講座などの事業や年度末にかけての会計を含めたまとめ等、粛々と務めていただきたい。今年のメインは関ブロ学会であり、成功に向けて頑張っていたきたい。2月28日、3月1日に関ブロ士会長会議に出席する。2月20・21日に日本理学療法士連盟の研修会、パーティーならびに総会に参加する。長野県士会長のお母様が他界され、弔電を送らせていただいた。

2. 総会の日程について。

(藤田事務管理局长)

平成 27 年 4 月 28 日(火)に開催をしたいと考えている。例年通り総会前には別に監査を予定している。

3. 次回の理事会日程について

日時 平成 27 年 2 月 24 日(火) 19:00~

場所 県士会事務所

駐車場：湯村温泉病院敷地内

連絡 2月20日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(藤田)へ提出する。

議題がない場合でも、事務管理局へ連絡する。